

(論点メモ)
**日ASEAN経済共創ビジョン策定に向けた
キーコンセプトについて**

**日ASEAN経済共創ビジョン策定のための検討委員会
事務局**

論点①：現状認識 ～世界の中のASEANと日本の現在地～

(1) ASEANと日本を囲む世界の情勢の変化

- ・ パンデミック、ロシアによるウクライナ侵略
- ・ 米中対立二極化／途上国・新興国と西側先進国の溝の拡大
- ・ 人権等の共通価値への対応、サステナビリティの重要性の拡大
- ・ デジタル技術の発展・普及／プラットフォーマーの台頭 等

(2) 世界の情勢とASEAN、日本の現状 ～成長著しいASEANと多くの課題に直面する日本～

(ASEAN)

- ・ 世界の成長センター、2030年には日本のGDPを超えるという予想もあり
- ・ 生産拠点であり、イノベーションの宝庫、リープフロッグ
- ・ 都市と地方の格差の広がり 等

(日本)

- ・ 引き続き世界3位の経済大国、低成長、少子高齢化、地方の衰退化
- ・ 多くの技術・コンテンツ等が生まれているが、GAFAのようなプラットフォーマーの不在
- ・ エネルギー・食料自給率が低く、エネルギー安全保障、食糧安全保障といった課題にも直面 等

(3) ASEANと日本の関係の変化

- ・ 日本が地域の産業発展を引っ張った雁行型発展の終焉、Asiaマイナス日本の時代の到来の恐れ
- ・ サプライチェーンというストックの維持／他国の新分野における積極的投資
- ・ デジタル技術活用による、ASEANが日本を通り越しリープフロッグ的な成長
- ・ ビジネス進出先としてASEANを選ぶ日本という立場から、選ばれる日本を目指す必要
- ・ ASEANが直面する課題に先に直面する日本 等

論点②：日ASEAN経済共創へ向けて共有したい理念

●多様性の尊重と包摂性の確保／次世代へつなぐ

- ・ASEANは多様な文化のバックグラウンドを持つ国の集まり。それぞれのバックグラウンドを尊重し、それぞれの良さを活かす仕組み作りをする。
- ・除外しない、尊重しあうための、基盤作り、ルールの整備を進める。

<キーワード> 地方と都市、子供から高齢者まで、全てのジェンダー、中小企業と大企業

●双方向

- ・人の行き来、ビジネス、全てにおいて双方向にモノを考えていく。
- ・双方向を実現するための基盤を実現する。

<キーワード> 人、モノ、データ、投資/金、文化、企業サービス

●ミドルの夢の実現／格差を減らす

- ・米国、中国、欧州、アジアを含め世界中で国内分断、所得格差が拡大する中で、各国とも中間層をどう盛り上げるかが大きな政治課題。

<キーワード> 国と国、国と地方、個人のレベル、企業のレベル（独占の禁止など）

●実状を踏まえたサステナビリティの確保

- ・気候変動問題、食糧安全保障、人権問題など、基本的な社会に必要な要素のサステナビリティを確保することを常に念頭に置く

論点③：日ASEAN経済共創に向けた主要な取組の柱

●人材・ネットワーク構築への未来投資／イノベーションの共創の基盤づくり

- ・次世代を担う若手・起業家等の人材ネットワークの構築
- ・共に学び、育て合う仕組み（相互のインターン、現地研修等）の推進
- ・オープンイノベーションの推進／共同研究等の科学技術の発展 等

●コネクティビティの強化／グローバルサプライチェーンの高度化

- ・都市、地方（離島含む）それぞれ活かすためのインフラ・コネクティビティ強化
- ・グローバルなサプライチェーン・ハブとしての産業集積の高度化
- ・データの共有・連携等の促進、サステナビリティの実装 等

●サステナビリティの実現

- ・カーボンニュートラル／エネルギー安全保障確保へ向けたエネルギー移行
- ・食料安全保障の確保へ向けた産業の振興
- ・防災対策（レジリエンス強化へ向けた取組）の共有
- ・健康経営の普及 等